

台湾初の「ららぽーと」事業決定 台北都市圏最大級、約250店舗規模 2021年開業予定

本事業のポイント

- ・台湾で初となる「ららぽーと」事業が決定、2021年開業予定
- ・台北市東部の新都心南港区で、台北都市圏最大級の約250店舗規模の商業施設となる
- ・海外では3施設目の「ららぽーと」事業、また台湾では3施設目の商業施設事業となる

■三井不動産株式会社(所在:東京都中央区、代表取締役社長 菰田正信)は、台湾初となるリージョナル型ショッピングセンター「ららぽーと」事業に参画することを決定し、台湾の大手金融グループである中国信託金融ホールディングス傘下の台湾人壽保險股份有限公司(本社:台北市、董事長 凌氤寶、以下「台湾人壽」と)、開発および運営について合意しました。店舗数約250店舗規模、店舗面積約70,000㎡(予定)と、台北都市圏では最大級の商業施設として、2021年の開業予定です。当事業は、上海金橋、クアラルンプールに次ぎ海外で3施設目の「ららぽーと」事業となります。また台湾では、2016年1月に開業した「三井アウトレットパーク 台湾林口」、2018年開業予定の「(仮称)三井アウトレットパーク 台湾台中港」に続く、3施設目の商業施設事業となります。

■当事業の計画地は台北市東部の南港区にあり、台北地下鉄(以下 MRT)「南港ソフトウェアパーク駅」から徒歩1分、「南港展覽館駅」から徒歩3分です。計画地周辺エリア(南港経貿園区)は、新都心としてIT産業を中心とするオフィス・商業・住宅など複合的な街づくりが進んでおり、中国信託金融ホールディングスの本社の他、複数の大手グローバルIT企業が拠点を構え、また2015年には250万人が来場した台湾最大のコンベンションホール「南港展覽館」も近接しています。人口集積が進む計画地周辺の居住者や、南港経貿園区に勤務するオフィスワーカーの他、高速道路の結節点という立地特性を生かし近隣の主要都市である基隆、宜蘭など、より広域なエリアからの集客も期待できます。

■当事業は、今後台湾人壽が開発するオフィス、ホテルなどの複合建物のうち商業モール部分について当社グループが一括借り上げし、「(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーと台湾南港」として運営する予定です。当社グループの100を超える国内外の商業施設での開発・リーシング・運営により培ったノウハウを最大限にいかし、台湾でも人気の高い日系店舗をファッション、物販、飲食の各カテゴリーで誘致します。またエンターテインメント施設や飲食店舗の充実を図るなど、来場のお客様が一日楽しめる時間消費型施設を目指します。

台北市街 地図



【三井不動産の台湾での事業について】

2016年1月に三井不動産グループ初の台湾事業である「三井アウトレットパーク 台湾林口」をオープンし、また同年9月には台湾における当社2施設目の三井アウトレットパーク(仮称)三井アウトレットパーク 台湾台中港への参画を決定、2018年のオープンに向け事業推進中です。また今月台湾初のホテル事業進出も決定し、2020年に開業予定です。今後の更なる事業拡大のため、三井不動産アジア 台北支店を昇格し、2016年9月13日に台湾にて現地法人(台湾三井不動産股份有限公司)を設立しました。今後も、現地法人を投資拠点として、台湾各地で商業施設、ホテルのほか、住宅分譲、物流施設、複合開発事業などの展開を目指しています。

【三井不動産の海外戦略について】

当社グループは海外事業を成長分野の一つに位置付け、2015年5月に公表した2017年度までのグループ中長期経営計画「イノベーション 2017 ステージⅡ」では、2015～2017年の3か年で欧米・アジアにおいて約5,500億円の投資を行うことを表明し、現在順調に進捗しています。

アジアでは拡大する消費を積極的に取り込み、現地に貢献しながら早期に利益を拡大すべく事業を推進しており、2015年5月にはクアラルンプールで「三井アウトレットパーク クアラルンプール国際空港 セパン」がオープン、また上海とクアラルンプールでららぽーとを計画中等など、アジアで当事業含め7つの商業施設事業を推進しています。また、マレーシア、シンガポール、タイ、インドネシア、中国では住宅事業も展開しており、アジアでの事業が拡大しています。

【中国信託金融ホールディングスおよび台湾人寿について】

中国信託金融ホールディングス

台湾人寿の他、中国信託商業銀行および東京スター銀行などを傘下におさめる、大手金融グループ。総資産約4兆8,480億NTD(2016/9末)、総売上約3,190億NTD(2016/12)

台湾人寿保险股份有限公司

中国信託銀行グループの100%子会社。資本金306億NTD(2016/9末)

【物件概要】

| | |
|--------|---|
| 所在地 | 台湾台北市南港区経貿段15地番(C3街区) |
| 交通アクセス | MRT 文湖線「南港ソフトウェアパーク駅」徒歩1分 MRT 板南線・文湖線「南港展覽館駅」徒歩3分 高速道路(1・3号線)・快速道路ICからも至近 |
| 敷地面積 | 約41,400㎡ |
| 店舗面積 | 約70,000㎡ |
| 店舗数 | 約250店舗規模 |
| 事業形態 | 台湾人寿が開発・保有する予定の複合用途建物のうち商業モール部分を当社グループが賃借、ららぽーととして運営。 |
| 施設名称 | (仮称)三井ショッピングパーク ららぽーと台湾南港 |
| 開業予定 | 2021年(予定) |

<添付資料1>位置図



<添付資料2>三井不動産がアジアで推進中の商業施設事業(2017年1月現在)

| | |
|--|---|
| <p>杉井アウトレット広場・寧波 中華人民共和国浙江省 宁波市鄞州区秋实路555号 2011年9月開業 2015年12月増床 店舗面積: 約39,700㎡ 店舗数: 194店舗</p>  | <p>三井アウトレットパーク クアラルンプール国際空港 セパ マレーシア クアラルンプール国際空港敷地内 2015年5月開業 2018年1月増床予定 店舗面積: 約24,000㎡ 店舗数: 約130店舗</p>  |
| <p>三井アウトレットパーク 台湾林口 台湾 台湾新北市林口区文化三路一段356號 2016年1月開業 店舗面積: 約45,000㎡ 店舗数: 約220店舗</p>  | <p>(仮称)三井アウトレットパーク 台湾台中港 台湾 台湾市台湾大道10段 2018年開業予定 店舗面積: 約35,000㎡ 店舗数: 約150店舗</p>  |
| <p>(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーと上海金橋 中華人民共和国上海市浦東新区金橋出口加工区 2020年開業予定 店舗面積: 約60,000㎡ 店舗数: 約200店舗</p>  | <p>(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーとクアラルンプール No.2, Jalan Hang Tuah, 55100 Kuala Lumpur, Malaysia 2021年開業予定 店舗面積: 約80,000㎡ 店舗数: 約300店舗</p>  |
| <p>(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーと台湾南港 台湾台北市南港区経貿段15地番 (C3街区) 2021年開業予定 店舗面積: 約70,000㎡ 店舗数: 約250店舗規模</p> | |

なお、三井不動産は日本国内において、リージョナル型ショッピングセンター「ららぽーと」を合計13施設運営しております。物件の一覧については、下記のURLをご参照ください。

<http://www.lalaport.jp/>